

# 光市医師会報

昭和55年1月発行

No. 89



君子之風

高畠 潔先生

光市医師会

# ごあいさつ

光市医師会長

大野 宗二先生



あらたな年を迎えることになりました。  
「いかにねておくるあしたに云ふ事ぞ、  
きのふをこぞとけふをことしと」後拾遺集  
にある和歌ですが、倏忽のうちに年は去り  
新しい年の来る事を表現した言葉でしょう。  
亦「ゆく歳に諸悪を流し除夜の鐘」「憂き  
ことも去年になり行くなつかしや」等の俳  
句もあります。一年の過ぎゆくとも早いな  
あと感じつつ、とにもかくも1980年を  
むかえました。

油上に築かれた高度経済成長の神話は、  
石油ショックにより、もろくもくずれ去り  
減速低成長をよぎなくされた1970年代  
は内外共に激動と不安定の時代であり、文  
明とはなにかと問われる時代であつたと云  
われております。此の一年間をふりかえつ  
てみても、日々の新聞誌上にショッキング  
な記事の報道のない日はない位の一年間で  
した。医療の問題に関しましても医療と医

師への不満攻撃は相も変わらず誌上をにぎ  
わし、徳州会病院が医師会の中に旋風をま  
きおこし、公取委の立入検査の結果による  
開業規制の問題も医療制度と医療の現体制  
下における本質に迫る問題と云えるでし  
ょう。数年前福祉元年として国政の重点と  
して論じられた問題も、経済の破綻による福  
祉見直し論として老人医療、健保制度、診  
療報酬の改制等1980年の論争の中心と  
なる事は間違いないでしょう。

昨年来地方の時代と云われております。本  
年も地方時代論は益々盛んに論じられるで  
しょうが、このような時代に医師会は何を  
なすべきか、医師会とは何かを再考すると  
共に、吾々は知性を力として相互の信頼と  
融和を信条として新しい年に処して行きた  
いと考えます。

皆様の御健康と御活躍を心より祈念致し  
ます。

## 医師会月間行事

### ◎臨時理事会

12月21日(金)午後7・30

光市医師会館

○藤原邦彦氏の光市医師会入会承認の取

り扱いについて 会長に一任と決定

### ◎定例理事会

1月8日(火)午後7・30

島田市 太閣

### ○連絡報告事項

(1) 藤原邦彦氏の光市医師会入会承認

後の取り扱い経過報告

(2) 適正配置委員会規則改正の中間報告

○協議事項

(1) 役員改選の為の臨時総会開催について

(2) 救急医療薬剤等の補充配布について

(3) 救急医療研修の件

◎定例会

1月22日(火)午後7・00

光市医師会館

○報告事項

(1) 藤原邦彦氏光市医師会入会処置についての経過報告

(2) 県医師会会長会議報告

① 県医師会役員改選について  
立候補受けと次期代議員報告  
について

② 丸茂参議院議員全国区立候補について各郡市医師会の後援会活動と遊説計画について

(3) 周南三市医師会役員会の開催について

◎救急処置研修会

1月22日(火)午後7・20

光市医師会館

救急薬品の支給と使用法及び事故防止の原則について

担当理事 富恵 哲先生

◎臨時総会

1月22日(火)

光市医師会館

昭和53年1月に改選された役員及び54年3月に補欠選挙された役員の任期が3月

末で切れる為に、定款の定めるところにより、臨時総会が開催された。

高島議長着席の後福本副会長より会員数44名中出席者23名、委任状提出者18名計41名で総会成立を報告す。

大野会長の挨拶があり、高島議長より選挙立会人を近藤、河内山(正)両氏に、開票管理人に中村国雄氏に、又議事録署名委員に守友、渡辺(貞)両氏に指名依頼した。次いで選挙に入り、会長、副会長、理事、監事、議長、副議長の順に投票により選出した。代議員、予備代議員については、慣例により代議員は会長を予備代議員は副会長を就任させることを全員異議なく賛成決定した。

〔次期新役員〕

議長	高島 溱
副議長	河村 俊男
会長	大野 宗二
副会長	福本 寿雄
理事	板垣 省三
"	富恵 哲
"	伊藤 慶二
"	亀田 仡
"	竹中 昭二
"	守友 雅彦
"	松村 晴正
代議員	大野 宗二
予備代議員	福本 寿雄

奥道後カントリークラブ

で遠征コンペ

1月19日土曜日の午後、柳井港を出発、奥道後ホテルに一泊、翌20日同じく奥道後カントリークラブに於て、寒風について

参加するもの緑友会を主体として、歯科医師会、ゲスト、無所属の私共老若とりまぜて12名。スコアは下記の通りで、全員不本意な記録になりましたが、折から大寒に入るといいう季節の冷い強風の中でのこと、止むを得なかったと思います。それでも、手もかじかむような海からの寒風の中で、大野会長、高島先生をはじめ全員が、1ラウンドと更にハーフを廻ったのは立派でした。

今度の旅行では、全く予想外のことが二つありました。一つは、噂には聞いていましたが、奥道後カントリークラブは並のゴルフ場と違って、本当に桁外れの贅沢と申

しますか、ゆっくりと気持ちよくゴルフを楽しむことが出来る珍しいところですよ。もう一つの意外なことは、泊ったのが温泉地なので、御乱行の方もあっては多少の期待がなきにしもあらずだったのですが、歌って踊って騒いで1時2時にはなりましたが、実に陽気に若さを取り戻した気持ちのよい前夜祭でした。

最後に、この遠征旅行を企画し、微に入り細に入り面倒をみてくださった幹事の竹中先生と守田先生には、充分に楽しませていただき、愉快に気持ちのよい旅行をさせて貰えた全員と共に、心からお礼を申し上げます。(伊藤)

氏名	out	in	Gross	H'cap	Net	Rauk
森本	48	48	96	13	83	5
諏訪	48	53	101	26	75	1
高島	56	53	109	30	79	3
藤村	47	52	99	10	89	9
大野	54	56	110	13	97	11
亀田	55	58	113	22	91	10
竹中	56	54	110	25	85	6
守田	45	52	97	10	87	7
今田	47	51	98	22	77	2
伊藤	52	61	113	30	83	4
富恵	57	57	114	25	89	8
吉川	57	67	124	26	98	12

### あとがき

高島先生の水墨画は、所謂文人派と申して宜しいかと存じます。四君子、なかでも蘭を描かれますと誰もが足元にも及ばない筆の持ち主です。表紙の絵は実にきれいな淡彩で色づけがされており、それをお目にかけられないのが残念です。

大野会長に新年の原稿をいただきながら、1月号の発行が月末になったことをお詫び申し上げます。

新年度の会長はじめ新役員が決まりました。好んでなった役目でもないのに、仕事や自

分の自由な時間を割いて医師会の仕事をさせていただくのは大変と思います。こんなことに思いを馳せながら、医師会の運営が会員の皆様の溶け合った力によって進められて行くことを願っております。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社